

公益財団法人 立松財団
平成28年度 事業報告書

自:平成28年 4月 1日
至:平成29年 3月31日
(万円未満切捨表示)

費目	助成区分	計 画	実 績 (件 数)	日 程 他
研究助成金	A. 特別研究助成 機械・装置などで高額 の費用を要する高度な研究	200万円 ×0～3件	200万円 ×3件	<公募> 3月21日～4月20日
	B. 一般研究助成 機械・装置などで費用 を要する研究	100万円 ×14～20件	100万円 ×14件 (内訳: A申請: 6件 B申請: 8件 1,400万円)	
	小 計 (A + B)	※1 上限 (2,000万円)	17件 2,000万円	
	C. 海外調査研究助成 ※1 { 渡航地域が a地域は15万円、 その他 b地域は20万円とする } 海外での研究発表や 情報収集	15万円 } 20件 20万円 } ~26件	15万円×4件 20万円×17件	<交付> 8月4日～ <海外渡航対象時期> 平成28年7月 1日～ 平成29年3月31日
	小 計 (C)	※2 上限 (400万円)	21件 400万円	
研究助成金 計		(2,400万円)	2,400万円	
事業管理 経費	①諸謝金、会議費 選考委員会の開催経費	(53万円)	51万円	
	②HP管理費 財団の事業を紹介する ホームページの運営経費	(6万円)	6万円	http://www.tatematsu.or.jp/
	小 計	(59万円)	57万円	
事業費合計		(2,459万円)	2,457万円	

※1 A:特別研究、B:一般研究助成において、同じ土俵で順位付けした上で、件数にこだわらず予算額(2,000万円)まで助成。ただし、Aの200万円は3件までとし、4番目以降の場合は予算枠に入れば、100万円を助成。

※2 C:海外調査研究助成において、渡航地域により助成金額を2つに区別(a地域 15万円 b地域 20万円)し、上位より予算額(400万円)までより多くの研究者に助成。

a 地域:
東アジア
東南アジア諸国

[参考]
東アジア 大韓民国 中華人民共和国 モンゴル国 台湾
東南アジア インドネシア カンボジア シンガポール タイ王国 東ティモール フィリピン